平 成 28 年 度

埼玉県シニアバスケットボール大会（男子の部）
埼玉県ｺﾞｰﾙﾄﾞマスターズバスケットボール大会予選大会競技要綱

一般社団法人　埼玉県バスケットボール協会
（主管）埼玉県実業団バスケットボール連盟
普及委員会

1. 参加資格

（1） 大会日の年齢が満40歳以上の男子チームで、全員が**埼玉県内在住・在勤者**とする。
在勤の場合には、在勤を証明できる書類は準備しおき提出を求められたとき、提示できるよう準備をしておいて下さい。

（2） 参加選手は、**JBA に競技者登録済み**であることが望ましがその限りではない。

（3） 事前に選手及びベンチスタッフとして、登録届け書に競技者登録された者だけが出場できる。

（4） **大会参加者として著しく問題があると判断されたチーム・選手については協議の上、参加の可否を連絡する。**

（5） その他、不測の事態においては主催者側、もしくは主管部門で協議し、通達する。

2. 大会規定

2．1　競技方法

（1） ゴールドマスターズバスケットボール大会会（40 歳以上・50 歳以上・60 歳以上）は参加チーム数によって異なりますが，ひとチ-ム２試合を予定します。

（2） 本大会は、JBA 競技規則 2015 を適用して実施するが、一部ロ-カルルールを採用します。

ア）競技時間について

・1Q（7 分）-2Q（7 分）-HT（8 分）-3Q（7 分）-4Q（7 分）-延長（3 分）
・各クオーター　7 分止め
・各ピリオード間2分
・4Q 残り 2 分止め
・HT の練習は、3 分前までとする。

2．2　ベンチの制限

（1） ベンチはチーム関係者 5 名（監督・コーチ・A コーチ・スコアラー・マネージャーなど）と選手15名以内の合計20名以内とする。

（2） ベンチはオフィシャル席に向かって右側を組み合わせ表の若い番号に記されたチームとする。

（3） 2・2(1)項のメンバーはチームとしての義務を負わなければならないので、その行動は当然審判の権限下におかれる。

2．3　ユニフォーム

（1）ユニフォームは JBA 競技規則に則り、濃淡用意する。但し、この規定中の**『パンツの長さをひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは認めない』**という部分の規定については、平成29年度より導入し規制する。

（2）リバーシブルウェアでの出場も可とする。

（3）ナンバーリングの着用も可とする。但し内部に着用するウェア（T シャツ等）は単色とし、出場する選手全員が同じ色（例：単色白など）を着用する事。短パンも極力メンバー同士合わせる事。

(4) (2)項(3)項のウェアで出場する場合は、チーム内全員が同じ着装とする事。コート上の選手が、**3人がリバーシブル、2人がナンバーリングなどの混同して**の出場は認めない。

(5) 着用するユニフォームの濃淡は、組み合わせ表の若い番号に記されたチームが淡色(白)とする。ただし、トラブル防止のため、ユニフォームは濃淡両方準備すること。

(6) ダブルヘッダの2戦目以降は、必要があれば事前にチーム間で話し合い、ユニフォームの濃淡を決めてもよい(必ず事前にコート責任者(協会競技委員会)に連絡し了解を得ること)。

(7)ピアス、指輪、タオル、バンダナ、カチューシャなどの装身具は外す事。

(8) パンツの下にパンツより長いアンダーガーメントをはいてもよいが、その場合はパンツと同様の色でなければならない。着用するプレイヤーと着用しないプレイヤーがいても差し支えないが、着用するプレイヤーはユニフォームに準じてチームで同じ色、形のものを着用する。

(9)ユニフォームが揃わない場合は、ナンバーリングを事務局より貸し出しますが、事前に連絡をお願いします。

2．4 キャプテン

(1) キャプテンはそのチームのコート上での代表者である。説明を得たいこと、あるいは是非知りたいことがあるときは、ボールがデッドでゲームクロックが止まっている間なら、審判に尋ねることができる。ただし、**どんなときでも礼儀正しく、またていねいでなければならない。**

2．5 コーチ・アシスタントコーチ

(1) コーチはゲーム開始10分前までにチーム・メンバーの氏名・番号、コーチの氏名、アシスタントコーチをおくときにはその氏名のリストをスコアラーに提出する(スコアシートに記入)。

(2) コーチはゲーム開始5分前までにスコアシートに記入されたチーム・メンバーの氏名・番号、コーチの氏名(アシスタントコーチをおくときはその氏名)を確認し、最初に出場する5人のプレイヤーをスコアキーパーに知らせ、確認のサインをする(スコアシートに記入)。

(3) 第二試合以降はスコアシートの先行記入を行うこと(前の試合のハーフタイムを目処とする)。

(4) コーチがなんらかの理由でコーチを続けられなくなったときは、アシスタントコーチがコーチの役目をする。コーチもアシスタントコーチもコーチの役目ができない場合は、キャプテンがコーチの役目をする。

(5) コーチだけは、ゲーム中ベンチから立ち続けてもよい。

(6) タイムアウトを請求できるのは、コーチまたはアシスタントコーチである。

2．6 オフィシャル

オフィシャル・得点(モップ係兼任)は各チームが分担するが、その原則は次のとおりとする。

(1) **第一試合のオフィシャルは第二試合に出場する両チームで担当し、第二試合以降は負けチームが TO，勝ちチームが得点・モップ係を行う。**

※オフィシャルに入ったスコアラーの交代は認めない。

2．7 不正登録(出場資格がない選手・未登録選手・二重登録)

(1) 試合開始前に確認した場合

ア)参加申込書に参加資格のない選手が記入されていることが、事前に確認できた場合は、事務局から告知し、その個人は出場出来ない旨、代表者に連絡する。(申込用紙から削除)この時点ではチームとしての参加は許される。

イ) 大会当日、メンバー表(スコアシート)の記入が済み、提出完了時に発覚した場合は、没収試合

とし、当該チームを失格とする。

（2） 試合中および試合終了後に発覚した場合、理由の如何を問わず没収試合とする。

2．8 棄権

（1） 試合開始時刻に遅刻すれば理由の如何を問わず没収試合とする（開始予定時刻から15分で判断）。本規定は第一試合オフィシャルの担当チームにも適用する（オフィシャルは定刻）。この確認はコート責任者（普及委員会）が行う。

（2） 止むを得ず棄権をする場合は、試合当日の3日前までに運営委員長、および相手チームに連絡すること。

（3） 止むを得ず棄権をする場合でも、当該チームに割り当てられているオフィシャルは必ず担当すること。棄権でゲームが無くなった相手チームも割り当てられているオフィシャルを担当すること。

（4） 棄権に対する定義

ア） 試合の3日前までに連絡調整が出来て棄権した場合・・・・棄権が成立

イ） 試合の2日前から前日までに連絡調整が出来て棄権した場合・・・・罰則を適用

ウ） 試合当日まで連絡調整が出来ずに棄権した場合・・・・無断棄権とし罰則を適用

2．9 審判

（1）チームは帯同審判員を設け、選手登録名簿 NO に〇印をつけ申請すること。試合当日申請した審判員が不在の時は、代わりの審判員でもよい。

（2）審判は各試合後、TOの人数とは別に、前試合の両チームから一名ずつ出す事。但し、重要試合などは審判委員会から審判員を派遣することもある。

（3）帯同審判員はレフリーカッターを着用し（黒のスラックスは任意）、笛は各チームで持参する。

（4）試合内容により審判委員会から審判を派遣する場合もある。

3．コートの準備および後片づけ

3．1 コートの準備

（1） コートの準備は第一試合の両チームが**試合開始1時間前**に集合し、互いに協力して行う。

（2） 準備範囲は自チーム側ベンチ・リングの設置とする。オフィシャル席・得点板は両チームで行う。

3．2 コートの後片づけ

（1） 最終試合後は最終試合の両チームで協力してベンチ・リング・シート・コード等の片づけとコートの清掃を行う。また、両チーム代表者とコート責任者（競技委員会）で体育館内（フロア・観客席・ロビー等）の点検を行う。

（2） 当該試合担当のオフィシャルは、オフィシャル用具・椅子・机・得点板等を片づける。

3．3 **準備・後片づけを怠った場合**

（1） コート責任者（競技委員会）がこれを確認し、罰則を適用する。

4．補則・その他

4．1 上記以外の競技規則

（1） 上記以外の競技規則は「バスケットボール競技規則 2015～（日本協会）」を適用する。

4．2 会場内での整理整頓・マナー

（1） 各チームはコート内の整理整頓および喫煙場所に注意し、清潔・清掃を励行すること。

（2） 競技フロアでの更衣は行わないこと。上衣の着替えなどで**ベンチで裸にならない事**。

（3） 喫煙に関しては、各体育館の所定の場所でお願いします。外の場合は、必ず下履きに

履き替え、対応をお願いします。

4．3　事故

（1）　会場備品・ガラス・ドア・リング・ネット等の破損、ストップウォッチ等の故障、大会共用ボールの紛失等が起きたら、速やかにコート責任者（競技委員会）へ連絡すること。

4．4　競技中の怪我について

（1）　競技中の怪我については、当協会では責任を負いかねるので、各チームで適切な準備および処置をすること。

4．5　貴重品・所有物の管理

（1）　各チームの貴重品・所有物は、チームが責任をもって管理すること。紛失・破損があっても、主催者側・体育館では一切の責任を負わない。

4．6　ゴミの持ち帰り

（1）　各チームで出したゴミは、すべて持ち帰ること。ただし、体育館に設置されている自販機で購入した飲み物の空きカン・紙カップ等は専用ゴミ箱があればこの限りではない。ペットボトルのフロアでの使用は禁止とする。スクイーズボトルを利用すること。

参加費については、試合当日受付時集金します。

5．連絡及び問合せ先

一般社団法人　埼玉県バスケットボール協会
シニア　男子担当　進藤
携帯　090-4133-4424
Eメール：shindo-m@i-next.ne.jp